

Lesson 06 「大和政権と氏姓」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

【ヤマト政権の成立】

- ①古墳時代「前期」3世紀後半
古墳の形（前方後円墳・前方後方墳）、埋葬施設の構造、副葬品の画一性・共通性
→ 一定の政治権力による各地域首長への影響
→ 特に大きい古墳は〔1 **奈良盆地**〕に集中
- ②〔2 **ヤマト政権**〕の成立
○ヤマトの首長を中心とする「連合体」
○4世紀末までに九州南部から東北部までを勢力範囲 ～古墳の分布状況
・ヤマト政権に従属しない首長も存在

【ヤマト政権と朝鮮・中国】

- ①〔3 **高句麗**〕～中国東北部の国家、楽浪郡を滅ぼし朝鮮半島北部を支配
～ 現在も残る〔4 **好太王 碑文**〕（414年）高句麗と倭が交戦
- ②馬韓 →〔5 **百濟**〕（4世紀中頃）
- ③辰韓 →〔6 **新羅**〕（4世紀中頃）
- ④加羅 → 弁韓の時代から小国分立のまま（＝加羅諸国/加耶諸国）
～ 鉄資源を求めるヤマト政権の介入（任那日本府？）
- ⑤『宋書』倭国伝
○〔7 **倭の五王**〕（讃・珍・済・興・武）の朝貢（5世紀初めから1世紀間）
○朝鮮支配の正統性を得るため
～ 朝鮮諸国に対する政治的優位の確保、朝鮮の鉄資源の確保
○倭王武の上表文（478年）雄略天皇？
- ⑥〔8 **石上神宮七支刀**〕銘文 ～ 倭と百濟の通交（＝親交）を示す

【ヤマト政権の発展】

- ①ヤマト政権の勢力拡大
～ ヤマト政権の王：〔9 **大王**〕と称す「獲□□□鹵（ワカタケル）大王」
～ 関東から九州にいたる地域の豪族を従属
→ 九州南部の熊襲や東北地方南部の蝦夷など
（北海道：続縄文時代、沖縄：沖縄貝塚時代～採集経済が続く）
※「獲□□□鹵大王」の「獲」は草冠がないものが正字
- ②〔10 **筑紫国造磐井の乱**〕
～ ヤマト政権の百濟救援軍を妨害？… 福岡県：〔11 **岩戸山 古墳**〕被葬者か？
→ 反乱の鎮圧によりヤマト政権の政治組織が一層強固となる ◀「石人・石馬」で有名

【氏姓制度と部民制】

- ①氏と姓
○氏姓制度
【12 **氏**】～ ヤマト政権に直接関与する豪族の血縁集団（大和・河内の豪族）
～ 代表者：**氏上**、成員：**氏人**
＜氏の名＞・地名によるもの（葛城・平群・蘇我など）
・職掌によるもの（大伴・物部・土師・錦織など）
- 【13 **姓**】～ 大王から氏に与えられた称号、ヤマト政権内での地位・職掌
→ **臣・連** ～最も有力な豪族に与えられた
- ②伴造・部民制
○〔14 **伴造**〕～ 手工業生産などヤマト政権の職掌を統率する氏
○伴・品部 ～ **陶部・土師部・韓鍛冶部**などの世襲的職業集団 <伴造が統率>
・〔15 **部民**〕～ ヤマト政権や豪族に隷属、直接生産に従事
→ 品部：ヤマト政権に従属、農業・漁業・各種手工業に従事
→〔16 **名代・子代**〕：大王家に属する
→〔17 **部曲**〕：豪族に属する
・奴（奴婢）～ 部民よりさらに低い身分
- <地方では>
○〔18 **国造**〕・〔19 **県主**〕
～ 地方の首長：ヤマト政権の地方支配および直轄地管理を委託された人物
〔20 **屯倉**〕＝ 大王家の〔21 **直轄地**〕（耕作民＝田部）
〔22 **田莊**〕＝ 有力豪族の〔23 **私有地**〕（耕作民＝部曲）

Q 1 なぜヤマト政権が広範囲の領域を支配したことが推測できるのか？

A ⇨ この時期に造営された各地域の古墳には、その形状・埋葬施設・副葬品にきわめて強い共通性があるため。

Q 2 倭の五王はなぜ中国に遣使を送ったのか？

A ⇨ 中国皇帝の権威を後ろ盾に、朝鮮諸国に対する「政治的優位」を保ち、朝鮮半島の「鉄資源」を確保しようとした。

Q 3 氏姓制度とはどのようなものか？

A ⇨ ヤマト政権下の豪族を組織化するため、血縁を示す「氏」にもとづき、地位・職掌を示す「姓」を大王が与えた制度。